

令和6年度大阪府豊能圏域在宅医療懇話会における主な意見（概要）

開催日：令和6年11月25日（月） 開催場所：豊中商工会議所 事務局：豊中市保健所

1. 豊能圏域における連携の拠点等の取組状況について

<連携の拠点の取組状況・意見>

【豊中市・豊中市医師会】

○豊中市医師会の在宅医グループは、現在、北部・南部に各1グループあるが、今後、新たなグループの構築に向け取り組む予定である。

○在宅医療・介護連携推進事業の取組として、高齢者救急の課題解決に向けた取組や ACP のスキルアップ研修会を開催している。

【池田市医師会】

○在宅医療の体制づくり、非医師会員との顔の見える連携が必要。在宅医療の課題の相談先が分かりにくい現状があり、拠点を担うことができれば良い。在宅医療を担う医療機関が増えないのは、往診の診療報酬が上がらないことが課題。

耳鼻科、産婦人科、泌尿器科など往診可能な医療機関が少ない。

【吹田市】

○在宅療養支援病院である自院には、肺炎等の患者が急性期からの下り搬送で搬送されている。また、在宅からの入院及び看取りを行っており、入院患者の受入れ状況を診療所の医師に知っていただきたい。（積極的医療機関としての意見）

【箕面市医師会】

○連携の拠点の取組は箕面市のみで完結しないため、周辺の市町村を巻き込んで事業を進めていきたい。

<連携の拠点以外からの意見>

○2040 年に向けた地域の実態に応じた体制づくりが非常に重要である。大阪府病院協会は後方支援ができるように取組を進めている。病院では患者を円滑に受け入れるため、登録医と会議を実施し、連携している。

○歯科医師会は在宅歯科ケアステーションにおいて多職種間連携に取り組んでいる。

○薬剤師会は在宅医療の研修会を行っている。薬剤師も退院時カンファレンスに参加できれば在宅への切れ目のない移行につながる。

○大阪府訪問看護シンポジウムにて ACP と高齢者の救急搬送について講演。市民から医療・介護の関係者までが ACP を進めていくことが必要。

○豊能町において訪問診療を実施している医療機関は 1 施設のみであるため、近隣市町の医療機関と協力している状況である。

○能勢町には総合病院がないため、市立池田病院と連携している。町内には 4 医療機関、2 歯科診療所があり、訪問看護ステーションは近隣の市町と連携している。

2. その他

○豊能圏域救急 MC 協議会における ACP プロトコル報告

豊能圏域救急 MC 協議会「人生会議(ACP)に基づいた救急現場での心肺蘇生等の対応について」のパンフレットに基づき、吹田市保健所から説明

意見なし

○「人生会議の日」に向けた大阪府の取組等について

大阪府保健医療企画課から説明

意見なし